

## 平成25年度学校・幼稚園・保育所等の校庭・園庭等における 空間放射線量率の測定結果について

東京電力株式会社福島第一原子力発電所の事故に伴って放出された県内における放射性物質の現状と経年変化を把握し、子どもの生活環境の安全を確認するため、市町村の協力により測定を実施したところ、結果の概要は下記のとおりでした。

### 記

- 1 測定期間 概ね平成25年7月から8月までの間  
 2 測定対象 県内市町村内の小中学校、高等学校、幼稚園及び保育所等 1,634施設

<内訳>

実施施設	測定実施施設数	1,634施設
うち 小学校		410施設
中学校		212施設
高等学校		104施設
特別支援学校		24施設
中等教育学校		2施設
幼稚園		264施設
保育所等		617施設
その他		1施設

- 3 測定方法 小学校、幼稚園、保育所及び特別支援学校は地上高0.5m、それ以外は地上高1m  
 原則として校庭・園庭における5地点の平均  
 4 測定機器 県が各市町村に配備した放射線測定機器 (NaI シンチレーション式サーベイメータ及び簡易型放射線測定器) のほか、各市町村や施設で独自に整備した測定機器  
 5 結果の概要 0.23 $\mu$  Sv/h<sup>\*</sup>以上の施設はみられなかった。  
 最大値は0.18 $\mu$  Sv/hであった。  
 平均値は0.07 $\mu$  Sv/hであり、前年度と比較して約22%減少した。  
 詳細は裏面のとおり

<sup>\*</sup>0.23 $\mu$  Sv/h: 年間の追加被ばく線量1mSvに相当する空間放射線量率。除染を実施する目安値。

## 結 果

### (1) 測定結果

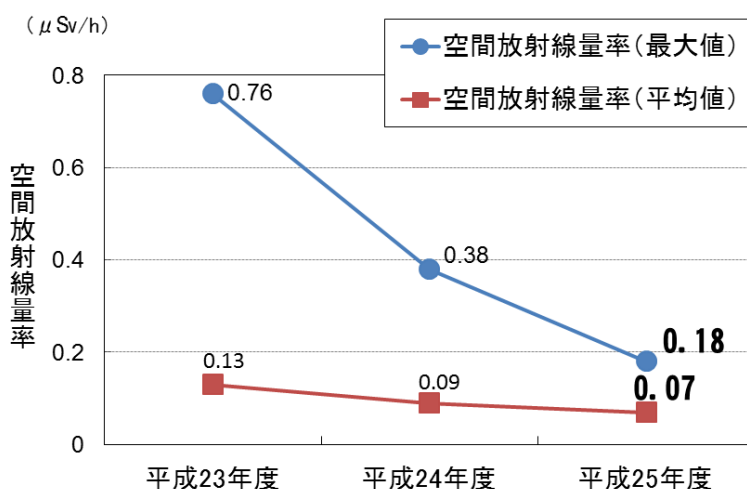
- ① 前年度 0.23  $\mu$ Sv/h 以上であった施設で除染が実施されたことなどから、今年度 0.23  $\mu$ Sv/h 以上を記録した施設はみられなかった。

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
0.23 $\mu$ Sv/h 以上を記録した施設数	164 施設 (10.1%)	29 施設 (1.8%)	0 施設 (0%)

- ② 最大値は 0.18  $\mu$ Sv/h であった。平均値は 0.07  $\mu$ Sv/h であり、前年度と比較して約 22%減少した。

減少の要因は、除染による効果に加え、セシウム 134 及びセシウム 137 の物理学的半減期及びウェザリング効果※などによるものと考えられる。

※ウェザリング効果：風雨などの自然要因による減衰



▲ 空間放射線量率の推移

### (2) その他

- ・市町村ごとの平均値等は別紙のとおり
- ・各学校等の測定結果の詳細は、「放射能情報サイトみやぎ」で公表予定
- ・WEB公表のURL (<http://www.r-info-miyagi.jp/r-info/school/>)

#### <参考：昨年度の測定施設数>

◇ 測定施設数 1,645 施設

施設数内訳			
小学校 425	中学校 213	高等学校 104	特別支援学校 23
中等教育学校 2	幼稚園 268	保育所等 609	その他 1

#### <担当・連絡先>

放射線等の測定全般に関すること	環境生活部 原子力安全対策課 放射性物質汚染対策班 担当 安藤・庄子 内線 2341
私立学校に関すること	総務部 私学文書課 私立学校班 担当 木川田 内線 2268
保育所等に関すること	保健福祉部 子育て支援課 家庭生活支援班 担当 鈴木 内線 2633
公立学校等に関すること	教育庁 スポーツ健康課 学校安全体育班 担当 柏 内線 3667

